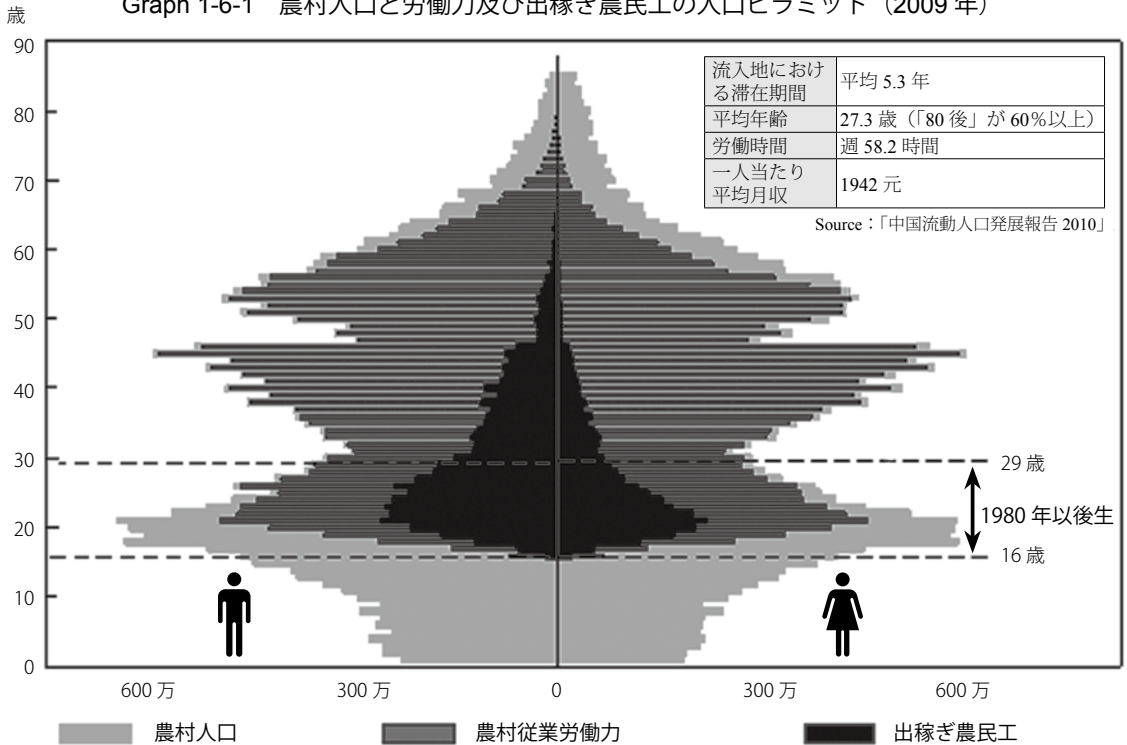


# 1-6 2.5 億の「農民工」の構造とその労働条件

Graph 1-6-1 は、農村の人口ピラミッドの上に、農村で働く者の年齢構成と出稼ぎ農民工になる階層とを重ねて描いたものである。前者は16～70歳前後まで、後者は16～29歳までが中心であり、30～40歳代は少ない。1980年以後に生まれた若者層は「バーリンホウ」と呼ばれるが、彼らは週58時間（毎日8.3時間）働き、その月収は1942元（約2万6000円）にすぎない。Graph 1-6-2 は、約2.5億人の農民工が現地で働くか、出稼ぎに出るか、その出稼ぎは「挙家離村」か、単身かを調べたものだ。Graph 1-6-3 は出稼ぎ農民工の月収と伸び率を雇用場所ごとにみたものである。

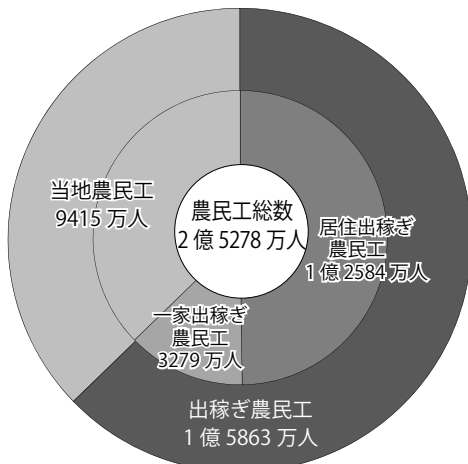
バーリンホウ  
80後の農民工は週58時間働き月収1942元（約2万6000円）を得る

Graph 1-6-1 農村人口と労働力及び出稼ぎ農民工の人口ピラミッド（2009年）



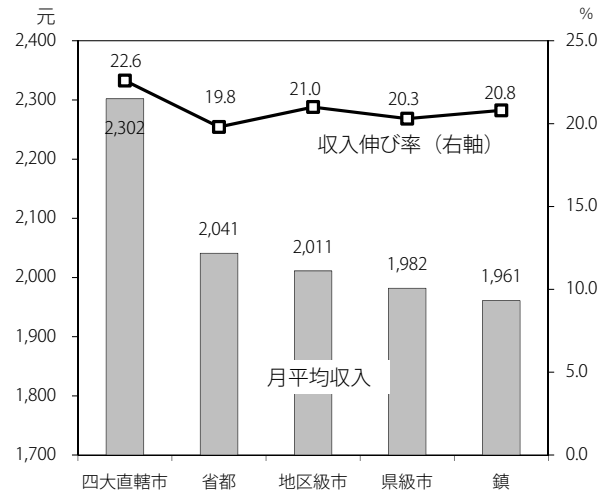
Source: 国家統計局「新世代農民工数量、構造和時点」

Graph 1-6-2 農民工の数量（2011年）



Source: 「2011年我国農民工調査監測報告」

Graph 1-6-3 出稼ぎ農民工の月収水準と伸び率（2011年）



この賃金格差が「より遠くへ」と出稼ぎ者を誘う。Map 1-6-1 は、「より遠くへ」と人々が誘われる姿を地図上に描いたものである。広東省、長江デルタ（上海市・江蘇省・浙江省）、北京市・天津市、及び福建省が四大吸引地区で、以上6省市で流動人口の8割を吸収する。Table 1-6-1 は、出稼ぎ農民工の労働時間が残業に次ぐ残業であることを示す。週労働時間が「5日を超える」とは、「土日も休みなし」だが、これが8割を超える。「低賃金、長時間労働」が農民工の実像であり、まさに資本の原始的蓄積が農民工の血と汗によることを実証した調査報告である。Graph 1-6-4 は、このように働き、働く農民工たちが社会保障の恩恵をあまり受けていない姿を示している。地域によって異なるが、労災保険は25%に満たない。医療保険も15%程度だ。低賃金による使い捨て労働——これが競争力の源泉とは嘆かわしい。

## 沿海東部6省に流動人口の8割以上が集中

Map 1-6-1 大陸主要地区の人口移動（5年前の常住地からの流入、2010年）

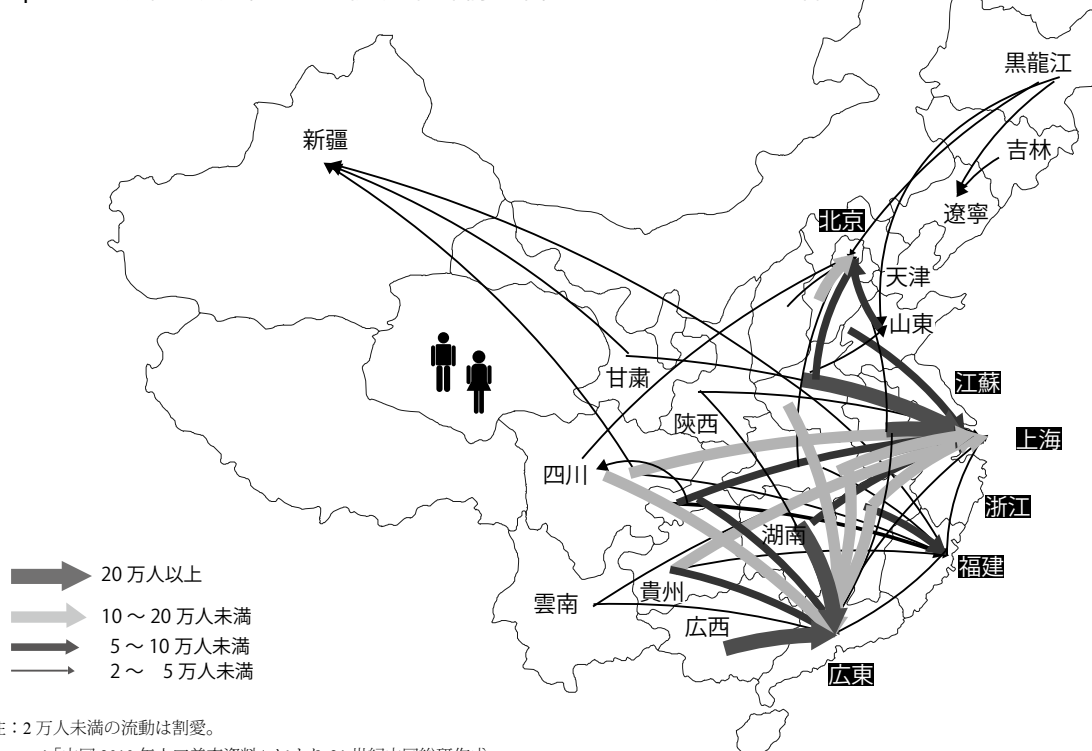


Table 1-6-1 出稼ぎ農民工の労働時間

項目	2010年	2011年
全年出稼ぎ従業時間（月）	9.8	9.8
毎月平均労働時間（日）	26.2	25.4
毎日平均労働時間（時）	9.0	8.8
毎週の労働時間が5日を超える割合（%）	86.4	83.5
毎日の労働時間が8時間を超える割合（%）	49.3	42.4
毎週の労働時間が44時間を超える割合（%）	90.7	84.5

Source：「2011年我国農民工調査監測報告」

Graph 1-6-4 出稼ぎ農民工の地区別社会保障への加入割合（2011年）

